

学校と連携した津久見市教育委員会の人材育成戦略

青江小への飛込授業＋若手教員育成に係る研修



今回の3学級における飛込授業は、当初は青江小における校内研修の一環で行う予定でしたが、津久見市教育委員会は急遽「若手教員育成に係る研修」として市内の学校に呼びかけてました。そのため、若手の先生方だけでなく、市内の校長先生や教頭先生、橋本学校教育課長や野々下指導主事も授業を参観されました。大変ありがとうございました。とても嬉しかったです。(緊張しました・・・)

放課後は、私の行った授業をもとに研修会を実施しました。若手の方々からは日頃の授業で悩んでいる事を出し合いながら、ほめる指導の在り方や2-6-2の法則を活用した学級経営について協議を行いました。

津久見市教委は、本研修の様子を資料にまとめ市内の学校にも周知されたようです。このような素早い判断と迅速な行動ができるのは、学校と教育委員会の関係の良さの表れであり、現場と行政の共通の願いの実現からだと感じました。今後の行政の在り方として、私も多くの事を学びました。ありがとうございました。



拍手と笑顔
拍手をすると笑顔になる。
笑顔が増えると対話もすすむ。
大人も子どもも一緒にですね。



褒め言葉を遣う
良い言葉を遣うと、相手や周りの人の気分を良くし、自分自身も幸せになる。

津久見市教育委員会が作成した資料 (一部抜粋)

【教師は授業の中で様々な願いを持って子どもに接しています。】

こんな挙手で
あってほしい

あなたの挙手の仕方とてもいいね！挙手っていうのはね、あなたのように…

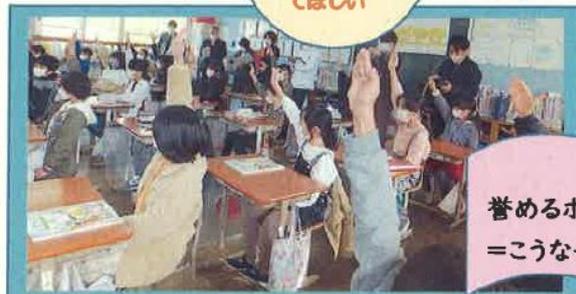
「〇〇しなさい」「〇〇してはいけません」の伝え方ではなく、見本となる子を誉める。「あなたも、あなたもいいね！」誉めることで、正しい姿が広がっていく。

こんな話の
聞き方であ
ってほしい

気持ちの切り
替えが早く
できてほしい

こんな風に
友達と接し
てほしい

たくさんの
考えをかい
てほしい



誉めるポイント
＝こうなってほしい子どもの姿

僕も誉めてほしい。私も見てほしい。(子どもの姿勢と視線が自然と所長の方へ向きます。)

【真似ることは学ぶこと。学校に来る前と来てからの君の考えは違う！成長している！】＝交流の意図